

SHOKEI



第470号

2010年(平成22年)
2月10日発行

地域の皆さんと作り上げました!

10色の色で鮮やかに! 白石の皆様と描き上げた、 「第1回 尚綱メディアフェスタ」

●秋月ゼミ/アニメーションま〜ごの世界 ●小原ゼミ/ミニコミ紙制作

子羊からの一通の手紙

中高教員/市川日和

教職員エッセイ

【梅の花】

○ 学習される教育「環境」/表現文化学科 教員 勝畑田鶴子

卒業生コラム

はばたき

1991年 尚綱学院高等学校卒業
仙台市立八軒中学校教諭/高田志穂さん

●情報掲示板/学校行事報告 ●同窓会コーナー拡大版(全国支部総会)

表紙写真/奉仕の日(中学生)

SHOKEI 2010 470 10色の色で鮮やかに!白石の皆様と描き上げた「第1回尚綱メディアフェスタ」

発行 尚綱学院後援会 〒981-1295 名取市ゆりが丘4丁目10番1号 TEL:022-381-3342
印刷 田宮印刷株式会社 仙台支店 〒984-0051 仙台市若林区新寺5-5-18プロト仙台ビル2F TEL:022-295-0281(代)
一冊送料共2,000円

募金事業報告 12月31日現在 1143件 ¥78,187,226

皆様、ご協力大変ありがとうございました!

頂きました募金で立派な大学図書館が完成しました。



2008年6月に開始しました募金活動事業も、2009年12月をもって終了いたしました。これまで、募金事業の推進にお骨折りいただきました募金委員や同窓会役員の皆様、募金に応じて頂きました1143名の皆様に心よりお礼申し上げます。お陰様をもちまして、12月31日現在、78,187,226円のご寄付を頂戴しました。募金額は過去最高額となっています。大変な経済不況下にあった中での募金活動でしたが、卒業生の働きを見た幼稚園長様からの寄付、逝去された卒業生の家族からの寄付もありました。募金申込用紙には「厳しい生活の中からで少額ですが」とのメッセージが添えられたものもありましたし、在校生の祖母からは、尚綱の発展を願い赤い千代紙の折り鶴が寄付金に添えてありました。全て本学院への思いと感謝、それは決して疎かにできない尚綱の強い絆を感じさせるものでした。新しい教育を目指す本学院にとって、皆様の思いが力強い支えとなっておりますことを申し上げ、募金活動終了のご挨拶と御礼に代えさせていただきます。

(募金事務局)

※皆様から頂いた募金は今後、エラオ・中高整備費で大事に使わせていただきます。

後援会 臨時総会

10年1月15日(金)江陽グランドホテルにおいて、22名の参加のもと臨時総会が行われました。12月号尚綱誌で提示させていただきました審議案に、一部表記上の修正を行い、ほぼ今回の提案が可決されました。新規約は新年度にHPに掲載させていただきますのでご覧下さるようお願い致します。10年度より代議員制になり、新たな出発をする後援会を今後ともよろしくご支援いただけますようお願い申し上げます。

(云長 高橋倫)

おくやみ

謹んで
哀悼の意を
表します。



- 氏家潮様(97歳) (本科昭和5年卒)
- 8月28日逝去されました。
- 茂庭弘子様(76歳) (女子短期大学部)
- 家政科昭和29年卒、旧姓佐藤
- 9月24日逝去されました。
- 吉川清隆様(78歳(評議員))
- 11月8日逝去されました。
- 山田ミツキ様(79歳) (本学院中高教員)
- 12月8日逝去されました。
- 千葉シン様(95歳) (本科昭和6年卒、)
- 高等科英文科昭和9年卒、
- 元中高教員、旧姓角田)
- 12月22日逝去されました。
- 木村みえ様(79歳) (元中高教員)
- 12月31日逝去されました。

学校と保護者の皆様を。母校と同窓生を。生徒と保護者の皆様を。もっと尚綱を通じてつながって欲しい。そんな気持ちで出来ました!

年6冊5回発送
5月 7月 9月 12月 2月
※9月のみ通常入募集特集号同時発行

この1冊で、尚綱学院の「いま」がよくわかります。SHOKEI



尚綱誌
購読の
お願い

尚綱誌の購読を通じて間接的に
母校への支援が出来ますので、ご協力宜しくお願い致します。

- 尚綱後援会にご入会いただくと、機関紙「尚綱」が年6冊5回発送されます。(会費は年額2,000円もしくは、複数年でも受け付けております)
- 購読ご希望の方は、下記にお振込みいただくか、もしくはお電話いただければ、こちらから専用振込用紙を郵送致します。
- 継続購読ご希望の方は、2,000円以上ご入金いただくか、専用振込用紙を同封致しますので、それをご利用ください。
- ご芳名掲載を望まない方は、匿名希望と振り込み用紙の通信欄にご記入ください。

郵便振込口座No 02230-3-2116

お申し込み先

TEL.022-381-3342 電話受付時間 木曜日を除く

FAX.022-381-3467 平日9:00~15:30

E-mail:koenkai@shokei.ac.jp

尚綱学院後援会事務局

〒981-1295 宮城県名取市ゆりが丘4-10-1

募集中!

記事を読んだ感想、思い出のお写真、情報等
お待ちしております!

お手紙 おハガキ FAX E-Mail にお送りください。

編集委員 徒然日記

旅行記の類が好きで、よく読む。未知の世界への憧れがあるのだろう。しかし、珍しい場所で希少な体験をするだけの旅行記はつまらない。一定のフィクションが必要である。最近、ブレス・チャトウィンの著作を読んだ。調査、取材が徹底していて、虚実の交わる世界を、端正な文体で描く。例えば「バタゴニア」では過去の無名の人たちが、肉体を帯びて立ち現れる。早逝した彼が書くはずのあの世の旅行記は、惜しいことにまだない。(T.O)

10色の色で鮮やかに！ 白石市の皆様と描き上げた、 「第1回尚綱メディアフェスタ」

白石市を市民の皆様と大学・表現文化学科の学生達で、色んな角度から見つめ、カラフルに描き上げてみました。さて、どんな風景がみえてくるでしょう。

第1回尚綱メディアフェスタ
「から描きたい・白石遠近法」
について



表現文化学科教員
千葉正樹

11月1日(日)から3日(火)

「今」から描きたい・白石遠近法」が開催されました。この催しは、表現文化学科が、白石にお住まいの皆様および白石市との連携により、市内の会場

展開した総合文化イベントです。コンサートにアニメ、映画、ブチミュージアム、シンポジウムなど、10の企画を、学生と教員が2年がかりで準備してきました。

この取り組みは表現文化学科の育成プログラム「地域メディアプロジェクト」の一貫に位置づけられています。本学科では、地域とのふれあいを通じて、全人的教育の効果を上げ、さらにメディアアプロデュース能力を育成して、学生たちを社会に送り出したいと考えています。そのため、最

初の開催地を考えるにあたっては、学生と教員の試行錯誤を支えてくれるような、地域の総合力を重視しました。城下町としての伝統と現代文化が一体となつている「仙南の雄」白石市は、またとない条件を備えております。ありがたいことに、白石のみならずからは、ご支援

いただけるごの反応をすくなく頂戴し、今回の取り組みとなりました。得られた成果は、学生の卒業研究の素材とさせていただきます。地域に積極的に還元していきたいと考えております。

Akizuki Seminar



背景セットに粘土で制作した人形を置いて、少しずつ動かしながら撮影します。1秒間の動画に10枚以上の静止画が必要です。



「ま〜この部屋」のセット制作中、柱にニスを塗って乾かしているところ。



東京テレビセンターでのアフレコ風景。



コマ撮りした画像と録音した声をパソコンに取り込んで編集します。

みんなの感想をきいてみよう!
庄ハツや携帯クリーナーなどの「ま〜このグッズ」がとんでも好評で、すぐになくなってしまいました。(学生A)
ただアニメを見てもらうだけでなく、白石の皆さんといるいろいろなお話ができたのもとっても大きな収穫です。(学生B)
プロの声優さんの熱演に押されて振り直しも大変でした。大変だったけど、よりいい作品になったと思います。(学生C)



細かな作業を繰り返して生まれた、ま〜この世界!

秋月ゼミでは、キャラクター研究の一環として「クレイアニメーション」の制作を行っています。クレイアニメーションとは、主に粘土を素材とした人形を使ってつくられた立体アニメーションの一種です。人形を動かしながら、カメラで一枚一枚

animation

Obara Seminar



白石市長、風間康静氏へのインタビュー。白石の歴史と魅力を長時間お話し頂きました。



白石市材木岩公園での取材風景。水の町をテーマに白石川の周辺を何回も調査しました。



11月の本番では市の情報センター「アテナ」に編集室を設置し、ミニコミ紙を2回発行しました。OA機器や印刷用紙を配置した編集室での記念撮影です。



9月に調査と編集会議を兼ね、蔵王のリゾートホテルで2泊3日の合宿をしました。

みんなの感想をきいてみよう!
始まりは成功への不安から、次に楽しさや辛さがあり、最後は雑誌を手にとってくれた喜びを感じた長いよう短いお祭りでした。(S.K)
雑誌を発行するのは初めてで、戸惑うことも多くあった。時間がない中、完成したときには拍手をすくなく感動しました。(F.O)
何度か逃げ出したくなりましたが、終わってみると、楽しかった思い出が出てきません。忙しかった分、勉強になりました。(S.S)

Printed matter



編集部を立ち上げ、協力体制で取材に駆け回り、満足いく結果を出せました!

今回のメディアフェスタに際し、小原ゼミでは白石を紹介する雑誌「和」一緒(わっしょい)の制作とフェスタを報道するミニコミ紙「日新月報」を再発行しました。「和」一緒は、学生たちの視点から白石を調査研究し、フェスタ来場者へ読者に想定しました。内容は個人

企画と共同企画に分かれ、前者はこの街創造人「白石気まぐれ紀行」24個の白石なごそれぞれの視点を生かした企画です。後者は、「白石市長インタビュー」メディアフェスタの内側からごごご、硬軟取り混ぜ取材した記事です。

白石の方たちからも好評をえることができました。また残部が少数ございますので、ご希望の方は小原研究室までお知らせください。



佐藤ゼミ wa
ほっかほっかコンサート
〜広げよう、みんなの「和」〜
和太鼓倶楽部「童さん」、白石女子高等学校さん、よさこい走乱白石城さん、そしてゲストとして柴田三兄妹さんを迎え、約2時間のバラエティ溢れる、心温まるコンサートを開催。



菊池ゼミ map
白石キーワードマップ
白石の名所・名物・そして有名人を、学生の視点から取材したもの(約46(しろ))のキーワードと、「14(いし)」のキーパーソンからなる電子ガイドマップとして製作。



大野ゼミ live
LIVE アテナ
5時間半の長丁場に渡る生放送をインターネット上で実施したほか、これまでの白石市内での調査の様々や、秋月ゼミのクレイアニメーション「まごにめ〜しよん」の予告編などのアーカイブ配信も行った。



曾澤ゼミ goods
おもしろい市
ゼミ生が考えた白石グッズの展示や、佐々木こけし工房さんとコラボレーションして制作したこけしハンガーの展示、そして「白石を感じる旅館の一室」を実際に再現したコーナーなどを展示。



学術シブシブ manga
地域とマンガ・アニメ
マンガ研究者、地域研究者、そして白石女子高出身の漫画家・安孫子三和さんが、マンガやアニメと地域との関係について語ります。



松本ゼミ poetry
ことばで見る白石
白石市内の小中学生のみならずから募集した短歌や詩、白石に関する本などを、秋の白石を感じるような装飾と共に展示。他にゼミ生による詩や短歌、民話、そして白石をイメージして創られた詩の朗読・歌謡を行った。



広瀬ゼミ Short movie
白石デート大作戦!
白石を舞台にして製作された青春ロードムービー「白石デート大作戦!」を上映。他に撮影が行われたロケ地情報や、白石ゆかりのグッズの展示。



千葉ゼミ history
白石本郷まちなみミュージアム
3つの展示企画を開催。①白石市教育委員会の全面協力の下「最後の小十郎」という展示企画。②「わたしたちの孫太郎!!」という展示企画。③「白石本郷まちなみミュージアム」という展示企画。





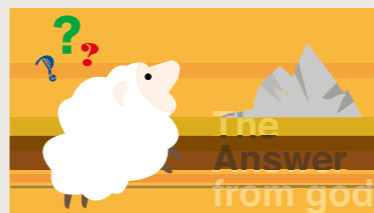
中高教員 市川日和

こうしてイスラエルの人々は、18年間、モアブの王エグロンに仕えなければならなかった。イスラエルの人々が主に助けを求めて叫んだので、主は彼らのために一人の救助者をたてられた。

(士師記3:14-15)

「苦しいときの神頼み」これは誰もが体験したことがあるのではないですか。まさに危機迫る瞬間、心の中で「神様！」と叫ぶとか、良くないことが続くとお「お被い」してもらわなければならないと思うなど、日本人にもよくあることだと思えます。

士師記3章14・15節は、罪を犯し試練を与えられていたイスラエルの人々が、主なる神様に助けを求めたまさに「苦しいときの神頼み」の場面です。聖書の語る「罪」(原語では「外的れ」)は、神を神とせず、自分を神として自己中心である事を意味します。イスラエルの民は神様に導かれ、約束の地カナンに招かれたにもかかわらず、その後神様に背くようになってしまいました。そんな彼らの様子からわかるのは、「私たちは苦しみの中にあっても、本当の神様に助けを求めることができなほど自分勝手な存在だ」ということです。だって、敵に支配され、苦役を強いられているのに、18年も神様に



助けを求めないのですから。また、その一方で「真の神様は私たちの助けを求める声に、すぐに答えてくださる方だ」ということが分かります。その答えはもしかすると私たちの願うような答えではないかもしれませんが、しかし、人が聖書の神様に助けを求めるとき、必ずその答えが与えられます。

「苦しいときの神頼み」そのものは悪いことではありません。問題なのは神でないものを神として助けを求めることです。聖書を知っていくことで、私たちはこの世界の造り主である神様を知っていきます。困難や試練にあるとき(もちろん平穩にあるときも)みなさんがこの神様に頼り、力を尽くしていけるようにお祈りします。

卒業生コラム

はばたき 第10回

高田

志穂さん

1991年 尚綱学院高等学校卒業
仙台市立八軒中学校教諭



Shiho Takada

1991年 尚綱学院高等学校卒業
1994年 県内大学芸学部音楽科卒業
中学教員として県内2校勤務
2003年 仙台市立八軒中学校に転勤
合唱部・吹奏楽部顧問となる。
【合唱部】
NHK全国学校音楽コンクール
全国大会、全日本合唱コンクール
全国大会、声楽アンサンブルコン
テスト全国大会出場 など
【吹奏楽部】
全日本吹奏楽コンクール全国大会、
管楽合奏コンテスト全国大会、
アンサンブルコンテスト全国大会、
マーチングコンテスト東北大会
など多数の大会において入賞する。
「教育音楽」(Band Journal)などに執筆。

教員を選んだきっかけは?

もともと音楽が好きだったことと尚綱で魅力的な音楽の先生と出会ったこと、教師を目指しました。また、もともと女性が社会で安定して働く事ができて一生続けられる仕事をしたという希望を持っていました。高校の頃は「教師が看護師」と理数クラスに所属していましたが、大学の頃はミス仙台に選ばれ、まわりからはマスコミ関係の華やかな就職先を勧められました。が、心を動かされることなく採用試験の勉強に励みました。

仕事上の印象的なエピソードは?

教員生活は毎日が驚きと変化に富んだ日々の連続ですが、特に合唱や吹奏楽で一つの音楽を奏でている時に感じる一体感は高校時代に感じたものとまったく同じで



教職員エッセイ

梅の花

Vol.10

表現文化学科 教員 勝畑田鶴子

学習される教育「環境」

最新機器と、学生への想い。39年間の思いを胸に...

尚綱奉職時に課せられた「英語視聴覚教育」。開設3年目の尚綱女学院短期大学英文科中山校舎の2室のフルラボ25ブース背面管理し、教室は斬新さと意気込みを放っていた。70年代のテープレコーダ、80年代普及のVTR、90年代後半からのPCと、機器は関わる人間を多数要求する。機器・関連機材・設置教室の日常的な維持・管理、新機導入の資金調達と多種多様な部署・業者との交渉、実に多くの方々に向けられた39年間に係る人々の機器対応の背後に透けて見える考え方から学ぶことは多かった。メディアである機器は不思議なことに、人間というメディアに載って学生に届く。私の2大方針は、最新機器の導入と、その機器の開かれた利用法の提供。関連する人的環境も含めた機器という共有資源の、フェ



アでオープンな利用を望むのは、日々機器をおしてフェアでオープンな対応を体感した学生の、社会に出た後その体験の記憶を基に、全ての物事に対して肯定的で柔軟な開かれた視点のフェアでオープンな行動を願うためである。学生は学内で日常的に多種多様な学習をする。授業担当者の専門性と厳しさや真摯な態度、授業外で耳にする大学メンバーのことばの端々、目にする振る舞い、学生自身の扱われ方、学内項目の決定・運営方法まで、大学「組織の環境」は無意識に吸収・学習され、再生産されていく。学生に学習を望む世界観を大学組織そのものは具現しているか、日々検証が必要とされる。

(*)当時の1教室導入提案者は、昨年お亡くなりになられた本学評議員、東北学院大学名誉教授市川清隆先生に、ご冥福をお祈り申し上げます。

です。合唱を指導していると、教え方や言い方が恩師(鈴木優子先生)そっくりで思わず笑ってしまうこと、これも多々あります。そのくらい、教師という仕事は生徒に影響を与えるものなのだ。と責任の重さも感じます。

尚綱時代の思い出

合唱部での活動が何よりの思い出です。「尚綱に入學するなら合唱部に入るんですよ」と言われるほ

合唱部で出会った歌う楽しみ。その思い出が、今の自分を支えています。



夢を追う尚綱生にアドバイス

今教えている生徒にもよく話しますが「今しかやれないこと」が学生時代にはたくさんあります。高校時代の部活動が今の私を支えているように、みなさんが今やっていることが今後の人生を支えて行くことになると思います。どうぞ、有意義な学生生活を送ってくださいね。

TIME SCHEDULE

ある日の高田志穂さんを追う!

- 06:00 起床
- 07:30 朝練習開始
吹奏楽は毎日朝練習
- 08:15 勤務開始
朝の会、打合せ、授業は毎日5時間程度
- 13:00 給食
- 16:00 部活動指導・会議など
- 18:30 生徒下校
事務整理や打合せ、保護者との面談など
- 21:00 帰宅
夫と晩酌しながら1日の報告
- 22:30 就寝

情報掲示板

寒さもまだまだ続く2月。卒業の春を目前にして、校内も賑わっています。様々な校内行事で盛り上がった秋から冬。写真と共に振り返ってみましょう。

幼稚園

一生懸命歌いました！

クリスマス礼拝

幼稚園では12月15日(火)・16日(水)(年中・長組の縦割りペア)、17日(年少組)の3日間の日程で、保護者の方々やご家族の方々と共にクリスマス礼拝をまもりました。



子どもたちはクリスマス礼拝に向け聖書のお話を聞いたり、1日1日心を落ち着け、イエス様を迎える準備をしてきました。年中・長組の礼拝の中では、子どもたちが降誕劇を演じ、イエス様のお誕生の喜びを伝えました。見ていた方々は、子どもたちの一生懸命歌い語る姿からも、クリスマスの喜びを感じることが出来ました。

(幼稚園教頭 甲原園子)

その他の行事報告

(幼稚園で行われたその他の行事です)



収穫感謝祭 11月12日(木)



ハロウィン 10月30日(金)

中学校

大きな学びを得ました

奉仕の日

仙台駅でみかけるホームレスの方々。駅に行くたびに見かけます。でも私には何も出来ることがありませんでした。「何かしてあげたい」とそんなことを思っていると、3Aでホームレス支援についての話題が出ました。とても良いタイミングで気持ちが上がりました。仙台夜回りグループの方々の活動は、とても素晴らしい内容ばかりでした。私はホームレスの方々のために、お米をわける作業をしました。3人組になってやったのですが、私は袋を結ぶ係で、私は今回とても沢山の学びを得ることが出来ました。これからはこの学びをちゃんと実行出来るように日々考えながら生きていきます。ホームレスの方も頑張っているんです。ですから、私も頑張りたいです。

(3A 鈴木亜里沙)

中学校その他の報告

女子バスケットボール部

第31回宮城県中学校新人バスケットボール大会 第5位
同大会の次リーグ 準優勝

高等学校

美しい音楽と共に過ごしました

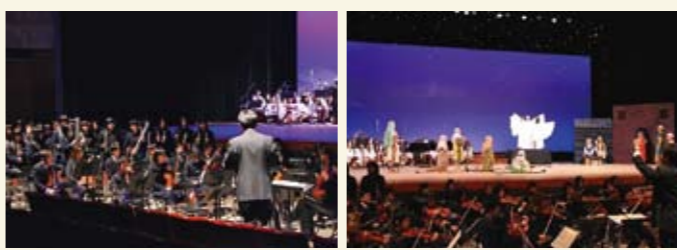
クリスマス礼拝

12月19日(土)、東京エレクトロニックホール宮城(宮城県民会館)において中高クリスマス礼拝をお捧げすることができました。

小林孝男宗主任による説教では、神がいかに私たちのことを愛しておられるかというクリスマスの意味を共に味わうことができました。また、オーケストラ、聖歌隊による美しい音楽を背景に、中学生が降誕劇を厳かに演じてくれました。大きな恵みに満たされ、心から感謝致します。

来年のクリスマス礼拝は、中高の礼拝堂を会場に予定しています。ぜひ本校で一緒に主のご降誕をお祝いしましょう。

(中 高宗教部 渡辺圭太郎)



創立記念礼拝

今までを振り返って

11月25日(水)創立記念礼拝がもたれました。加藤学院長より、先人が語りかけることと題して尚綱が創立された頃の時代背景と歩み、フェル校長が当時の卒業生に送ったメッセージのwordというシンブルながらも奥の深いことばの意味を教えてくださいました。

「偉い人・有名な人・高い地位の人になれる人はごくわずかでしょう。しかし、そんなことよりもっともっと重要なことがある。それは良き心である。そして、良き心を自分の郷里、与えられたところで生かさない」心によく刻んでおきたい言葉でした。(後援会)



クラスメイトと一緒に楽しみました 修学旅行

09年11月中旬、高校2年生は3方面に修学旅行を実施しました。平和について深く学びを深めたとともに、現在の我々の生活について考えさせられた沖縄、日韓両国の交流の歴史や文化を学び、釜山イサヘル高校生との楽しいひと時を持った韓国。また、10日間豪州ブリスベン市に滞在し、現地高校での授業、ホームステイなどを経験した国際情報クラスなど、それぞれ思い深い体験になりました。



オーストラリア (11月9日~19日)



韓国 (11月15日~19日)

沖縄修学旅行を終えて

2年6組 今野晴

5日間を通して、知識があまりなかった戦争と被害者の思いなどを事前学習のときよりもさらに深く知ることができました。

最後の日に行った対馬丸記念館には、犠牲者を忘れないための一人ひとりの写真や学用品などがたくさんありました。形あるものは時間が経てば壊れてしましますが、何年経っても失われたい「想い」というのは、平和への強い希望だと実感させられました。



沖縄 (11月16日~20日)

大学・短期大学

様々な催しで楽しみました

クリスマス礼拝

12月17日(木)13時30分より東京エレクトロニックホール宮城にて、第一部礼拝は保育科2年生聖歌隊入場後、佐々木公明学長より「最も小さき者」と題して、小さい者に心を寄せる大切さについてメッセージをいただきました。

第二部は土田先生指揮、ハンドヘルアンサンブルの演奏、佐藤淳一先生のテノール独唱、今井邦男先生指揮、保育科2年生音楽コースの「ハレルヤコーラス」、保育科1年生・オーケストラ部打楽器・学内有志聖歌隊が加わった合唱、最後は会場全員合唱、きよしの夜の音楽会でした。開始前に昨年度の席上献金で設立運営が開始されたカンボジア保育施設の報告がありました。

(宗教部 表現文化学科 勝畑田鶴子)



一丸となり頑張りました

管弦楽団 定期演奏会

大学管弦楽団第16回定期演奏会は、12月27日(日)にイズミティ21で行われました。私達は演奏会に向けて夏期合宿や強化練習を行い、団員一丸となって長時間の練習に励みました。また空いている時間にパート練習や個人練習をし、少しでも良い演奏ができるよう努力しました。本番では皆様が良い演奏をお届けできたのではないかと思います。

私達をご指導くださった指揮者の高木和男先生や、ご多忙の中、協演して下さったソリストの星旗亜実さん、多くの方々のおかげで無事に演奏会を終える事ができました。

(実行委員長 保育科2年 佐藤朝美)



情報掲示板

就職活動に向けて 東京バスツアー'09 リクナビリーヴェ 企業合同セミナー

リーマンショック以降激変した就職状況を踏まえ、東京地区で開催される「企業合同セミナー」に積極的に参加し早めに就職活動の準備に取り掛かることを目的として、東京バスツアーを実施しました。大学3年生109名、教員4名、職員2名の総勢115名は、11月6日夜10時に仙台駅前を貸切バス4台で出発、長町・南仙台駅等を経由し仙台南インターから東北自動車道をひた走り、一路東京ビッグサイトを目指しました。途中、舞浜で朝食休憩を取ったあと7日8時半に会場入り口に一番乗りし、11時の開場を待ちました。会場内では356の企業、団体がブースを設け、1000名を超える学生が、各企業の説明に熱心に聞き入っていました。本学からの100名を超え

る学生も首都圏の学生に勝るべくなく、各人の志望する企業ブースにおいて、積極的に人事担当者に大学名と個人名を名乗った上で鋭い質問をし、大いに自己アピールを図りつつ、尚綱の名も多くの企業に印象付けてきました。参加した学生達はそれぞれに手応えを感じている様子で、将来実社会で活躍している自分自身の姿を夢見つつ、充足感と多少の不安そして心地よい疲労感とともに帰途につきました。本学としてはじめて取り組んだイベントでしたが、全員無事帰宅できましたことは、何よりのことでした。
(進路就職課長 石橋秀司)

エゴレスマイル コンテスト宮城 エゴについて取り組みました

10月31日(土)に仙台国際センターで行われた「ストップ温暖化センターみやぎ主催の「エゴレスマイルコンテスト」は、宮城県内で行われているエゴな取り組みや物、環境活動をひとつに集め、広く紹介していくコンテストです。生活環境学科では、昨年に引き続き特別協力という形で参加し、会場設営や受付、「尚綱学院大学生生活環境学科賞」の審査、表彰などに取り組みました。
私は昨年、今年と実行委員として



参加しましたが、今年は、審査の集計責任者と賞品のプレゼントというやりがいのある大きな仕事とめぐりあいました。また今回は、実行委員としてた

銅メダルを取りました デフバレーボール 世界選手権大会

柳川奈美子(06年卒)



09年9月台湾の台北市で開催されたデフリンピック(聴覚障害者の五輪)で銅メダルを獲得しました。予選リーグは6カ国と対戦しグループ2位で決勝トーナメントに進出しましたが準決勝でアメリカに1-3で敗れ昨年の世界選手権に続いての決勝進出はかないませんでした。気持ちを切りかえ3位決定戦ではやっとな日本チームらしいプレーができ3-0でペナルシーに勝利することが出来ました。

夢のような大きな舞台デフリンピックに出場し台湾の文化を肌で感じる事ができた。世界の人々と交流を深められたことは一生忘れられない思い出となりました。ご声援頂きました同窓生の皆様にご感謝致します。ありがとうございました。



尚綱音楽教室 発表会

暖かい拍手をいただきました



第43回尚綱音楽教室発表会が11月3日(火)戦災復興記念館で行われました。会場には三世代一緒のご家族も多く、幼稚園生の緊張の中にも微笑ましい演奏や、音楽大学受験を目指した真剣な演奏は皆様にご感銘を抱いて頂けました。

た。ピアノ、バイオリン、独唱の他に、皆の協力で作り上げた合唱、弦楽合奏もあり、とても素敵な響きで音楽を楽しむ体験ができました。最後に講師で仙台フィル団員の伊部祥子先生がバイオリンのすばらしい演奏を披露しました。

音楽に興味のある方、音楽教室で学んでみませんか。見学、体験歓迎です。
(音楽教室講師 日下美香)

この春、羽ばたいていく 尚綱学院卒業生の皆さんへ



十二人を派遣するー
「旅には何も
持って行ってはならない」

学院長 加藤正名

『イエスは十二人を呼び集め、あらゆる悪霊に打ち勝ち、病氣をいやす力と権能をお授けになった。そして、神の国を宣べ伝え、病人をいやすために遣わすにあたり、次のように言われた。旅には何も持って行ってはならない。杖も袋もパンも金も持つてはならない。下着も二枚は持つてはならない。どこかの家に入ったら、そこにとどまって、その家から旅立ちなさい。』(ルカによる福音書：9章1-4節)

卒業の英訳は普通graduation課程の修了ですが、ときにcommencement(開始)と言います。卒業は新しい人生への旅立ちだからです。



この聖句は、イエスが弟子たちを伝道に派遣する場面を記しています。

みなさんが尚綱で学んだ知識や経験がそのまま新しい人生で役に立つことは極めて稀です。いや、むしろそのような知識や経験を頼りにしてはいけません。しかし、皆さんは尚綱での礼拝でまた講義で最も大切なものをすでにそのからだに受けています。勇気をもって、からだ一つで、新しい人生に旅立ってください。そして、与えられた環境のただなか

に立って、新しい人と出会い、学び、その人たちとともに成長してください。



高等学校/芳賀実由

私は、応援団に所属し、1年間応援団長を務めました。応援団長に選ばれた時は、生徒会執行部に入るといふこともあり、とても不安でした。

色々な人に支えてもらうばかりでしたが、人に頼るばかりでは、自分が成長しないと、自分なりに考え、行動に表していくことで、自信に繋がりました。1年間、自分の仕事を最後までやり通すことが出来ました。また、外部での活動にも積極的に参加し、色々な人と出会い、学び、一つひとつが私にとって大切なものとなりました。



大学 人間心理学科 遠藤可奈絵

入学当初、自分には一体何ができるのか将来就職する事も見据え、この4年間は色々な事に挑戦するといふ目標を立てました。

心理学の勉強はもちろんのこと、選択した教職課程では母校での教育実習、インターンシップでは24時間テレビの現場で働かせて頂き、日々のアルバイトでは接客の難しさを知りました。

私にとって尚綱大学の4年間は色々な事を経験し失敗し悩みながら、将来の自分を考える貴重な時間になりました。これからは社会人としてこれまでの経験を活かしながら少しずつ成長していきたいと思えます。

最後に、この充実した4年間で過ごせたのは、家族や友人、先生方の協力があった実現する事が出来たのだと深く感謝しています。



人間心理学科



短期大学部・保育科 佐々木亜美

尚綱で保育者を目指して学びを重ねてきた2年間は、私にとって1日1日がかげがいのないものでした。普段の保育の学びはもちろんのこと、特に、初めての1人暮らしからホームシックにかかった時や、それぞれ期待と不安を持ち臨んだ実習の際には、改めて周囲の人々に支えられている自分を感じ、その温かさを心の中でかみしめながら充実した学びへと繋げていくことが出来ました。卒業にあたり寂しさを残しつつもこの学やを去り、いよいよ保育者として社会に出ていきます。尚綱での学びを忘れず、今まで私を支えて下さった方々に少しづつ恩返しができるよう、今自分出来る一杯の事を多くの人々に伝えていけたらと思っています。

保育科



同窓会コーナー
各地で開かれていた支部総会、皆さんは存じでしたか？同窓会の今年1年を振り返ってみたい。あなたの参加を心よりお待ちしております。

出合いがいっぱいの09年度を振り返って

会長 鶴間順子

今年度もこれまで皆さんのご支援をたくさんいただいていたが無事終えることができました。本当にありがとうございます。

同窓会が人との出合いを大切にしている。輪が広がった1年だったように思います。新システムによる同窓会名簿作成に関わっていただいた方々には、特にその動きに心からの感謝を申し上げます。その作業は若い卒業生の活躍と、シニアのボランティアが一体になって進められたのです。そして、学院の募金についても母校を思う気持ちが集まりました。同窓会関係募金総額は585件、27,000,350円(本部会計横立金からの1,600万円を含む)でした。各支部、厚生部の皆さん、そして多数の会員の皆さんのご支援に心から御礼を申し上げます。

支部紹介

同窓会では、北は北海道、南は関西まで15支部が活動しており、今年も各支部で総会が行われました。今回は、各支部総会の写真と、今年度開設の生涯学習センターで行われました名取支部総会をご紹介します。また、支部の方より同窓会ホームページの活用や地方支部からの本部役員選出、学院と共催でのイベント企画等ご意見・ご要望を頂きました。これらのご意見は、幹事会役員会で話し合いながら、今後の活動に反映させていきたいと思います。

皆さまに近いうちに同窓会にしたいと思っておりますので、ご意見等ございましたら、是非本日までお寄せ下さい。

Pick up 2 楽しいひとときを過ごせました 太白最寄会



太白最寄会では今年度活動を企画するにあたり「エクステンションセンター」に問合せをし、担当の庄司さんにお力になって頂きました。講座の1つである「元氣塾(互いに尊重し合いながらいっしょに)」にチャレンジする(の企画)として10月に「アソビ」をテーマに「アソビ」をテーマにした歌を歌い語らいます。また第2弾として「おいしいバスツアー」を1月に実施いたしました。これからも第3弾、第4弾と学院と繋がりを持ちながら進めていく予定です。皆様のご参加お待ちしております。

楽しい時間を過ごしました クリスマス礼拝

去る12月12日(土)、広瀬校舎地下食堂にて「同窓会クリスマス讃美礼拝・祝会」が行われました。

第一部礼拝は、深田雪子さんの司会が始まり、北三番丁教会の牧師江連先生が、「主イエスは幸せの道です」と題して奨励下さいました。また、後援会と同窓会事務の方で結成された聖



歌隊による讃美もありました。第二部祝会では、気分を一新して、小野寺正美さんによる、サンタ姿の人形を用いたの腹話術や聖歌隊による手話をまじえてのクリスマスソングで楽しい時間を過ごしました。また、会場に集まった方

第2回最寄会 代表者連絡会

9月26日(土)秋晴れの中、同窓会役員4名、青葉区から2名、若林区からは4名の計10名により代表者連絡会が行われました。会の中では、各最寄会の年間の行事が報告され、今後の活動話し合いが

尚綱学院 15支部総会のみなさま



Pick up 1 我が家での温かい集まり 名取支部

名取支部は平成16年に設立、6年目を迎えました。毎年、総会が近づくと打合せや総会の会場について頭を悩ませておりましたところ、エクステンションセンターより名取支部総会は当センターで行いませぬかと声をかけをいただき迷わずに今年度総会場に決めました。

今年度の総会は、「同じ屋根の下、我が家」に名取支部同窓生が集まったという温かい雰囲気の中で始まり、親睦をさらに深めることが出来ました。懇親会が始まる前、センターが開設されたばかりということもあり「これから落しこい意味を高め、お茶席を催しました。役員が朝早くからお茶道具一式を持ち寄り、2階の和室で、来賓(学長、学院長、本部役員)そして会員が小グループに分かれ、神妙にお点前をいただきました。

今回会場の生涯学習センターは昨年6月に開設され、講座も充実しており、地域の方からは評判がよいので、尚綱の同窓生としてとても嬉しく誇りに思います。



(名取支部長 小野たけお)

インフォメーション



今期からの新しい役員です。よろしくお願いたします。

同窓会総会実行委員 スタッフ募集
今年5月15日(土)に行われます同窓会総会には、(寅)早生まれの元年生の方を中心に準備を進めておられます。実行委員としてご協力いただける方を募集しております。

同窓生名簿に関するお願い
住所・氏名変更等があった場合やクラス会等で同窓生の情報が分かりましたら、名簿や情報を同窓会事務局へお知らせ頂く様お願い致します。

ぶどうの会

「聖書と讃美歌を楽しむ会」として、奇数月の第二日曜日午前10時から11時半まで尚綱音楽教室を会場に活動しています。その他、同窓会行事での歌慰問演奏の活動も行っております。



音楽教室を会場に活動しています。その他、同窓会行事での歌慰問演奏の活動も行っております。

ご案内

皆様の参加お待ちしております

本部行事

- 総会** 日程:2010年5月15日(土) 場所:江陽ランドホテル
- 八三会** 2010年8月3日(火) 輪王寺内北山霊園
- クリスマス讃美礼拝・祝会** 2010年12月11日(土) 広瀬校舎内

2010年度支部総会

支部名	本年度開催日	支部長
登米	6月開催予定	菅野 紘子
関西	6月19日	播 節子
岩手	6月26日	道又 百合子
名取	7月3日	小野 ずゑ子
岩沼	7月10日	佐藤 裕子
塩釜	7月17日	遠小 和子
北海道	9月4日	速小 高子
亘理	9月11日	高上 西子
気仙沼	10月9日	佐藤 文子
山形	10月16日	森 文子
仙南	10月23日	佐藤 文子
大崎	10月30日	丁子 貴子
石巻	11月13日	伊藤 八千穂
東海	11月20日	池 世
関東	12月4日	
本部クリスマス	12月11日	

*開催はいずれも土曜日となっております。